

# 教育センターニュース

四日市市教育委員会 教育支援課 〒510-0085 四日市市諏訪町 2-2 (四日市市総合会館6階)  
TEL (354)-8283 (代) FAX (359)-0280  
ホームページ <http://www.yokkaichi.ed.jp/e-center/>



教育支援課  
マスコットキャラクター  
しえん君



■特集 ICTを活用し校務処理を大幅に効率化・U-8ともだちづくり教室

## どうして、今、「学び合い」なのか 〜学びの一体化のキーワード〜

指導課 伊藤 均

小学校三年生の社会科授業の  
コマである。

教師が一つの袋を子どもたちに  
見せながら、「これは〇〇町で〇  
〇さんがイチゴ作りをしている土  
です。この土を見て『感じたこと』  
『はてなと思ったこと』を出して  
みましょう」と、問いかける。

子どもたちは、班で袋の土を眺  
めたり、触ったり――

土との出会いから始まったこの  
学習は、班で疑問を出し合って、  
調べる方法を考える活動、学級全  
体で調べたことを基に、イチゴ作  
りの工夫について考え合う活動な  
ど、学び合う活動を随所に取り入  
れて進められた。

「学び合い」では、子どもが互  
いに聴き合い、話し合うことを通  
じて、自らの考えを深めていく。  
その過程で人間関係づくりも学ん

でいく。学び合いのできる学級や集  
団は、一人一人が大切にされ、それ  
ぞれの居場所があり、学習に前向き  
でねらいの達成度も高い。

このように、「学び合い」が子ど  
もの成長に大きな役割を果たすと  
の認識から、市の学校教育指導方針  
においても、八年前から具体的な取  
り組み方を示している。

その中で、改めて「学び合い」を  
「学びの一体化」のキーワードにし  
たのは、近年の調査結果や子どもの  
実態から、学びへの意欲やコミュニ  
ケーション力、問題解決力を高める  
取組の充実が切実であり、校種の枠  
を超えて連続的・系統的に進めるこ  
とが、必要であると考えたからであ  
る。

まさしく「学びの一体化」がめざ  
す『健やかな成長』『確かな学力』  
の保障を進める鍵になるもの

ではないだろうか。

「学び合い」を進められるかどう  
かは、教師の意識と力量にかかって  
いると言っても過言でない。そのた  
め、学び合える教材づくり、学び合  
いを進めるための指導方法、学級づ  
くり等、実践研究を進める指導者、  
学校も多い。

しかし、「学び合い」のイメージ  
は、思いの外、指導者によっても違  
うようである。まずは園や学校、中  
学校区で「学び合い」がどんな姿か、  
どうして必要なのか、成立する条件  
は何か等、話し合ってはどうかだ  
う。そして、現状を基本に取組の視  
点を明確にして、探求的、創造的に  
取組（授業づくり等）を進めること  
によって、本市の子どもたちの学び  
が一層豊かなものになることを切  
に願う。





## ICTを活用し校務処理を大幅に効率化

子ども向き合う時間の確保 ～高花平小学校～

高花平小学校に、朝の打ち合わせがありません。週に一度放課後に10分程度の打ち合わせがあるだけです。

一日の予定は、毎朝メールで配信される教頭日報で確認しあいます。この日報のおかげで一日がスムーズに始まり、子どもと向き合う時間が増えました。また、互いに共有する情報量が格段に増えたので、教職員間のコミュニケーションも活性化、会話も自然にはずみずみです。

日報以外にも、様々な校務をエクセルで一括管理し、作業時間の大幅な短縮を図っています。

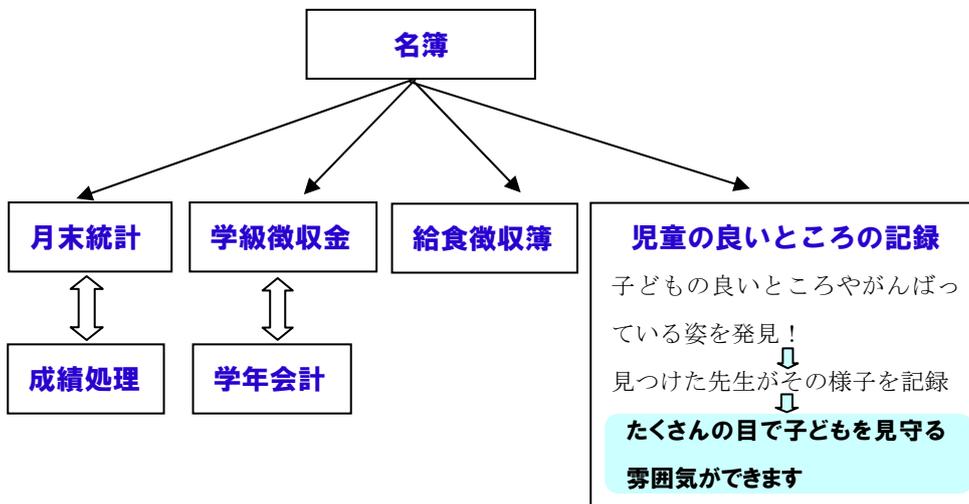
子どもと向き合う時間を作るためにも、ICTで校務を効率化してみませんか？



森田一哉 教頭先生

平成22年 7 月 14 日 水 曜日		7 月 15 日
① 図書貸出(8冊) ② ベネッセICT ③ 地区児童:一斉下校 (5限) 図書ボランティア 学校長出張 - 市校長会議(1日) ④ 日課 PTA広報紙印刷 13:00~ PC室使用(ENDLESS)	明日の予定 ① 個人懇談会(高花平) 13:30~ ② リブネット ③ フットワーク 3限 2年 ④ 日課 運動場駐車場使用 (南校舎フェンスはひ)	

## 作成したものを、他に連動させる



**ここが便利!!!**

- ① 同じデータを何度も入力しなくてよいので、転記ミスがなくなる
- ② 出席簿を作成すると、月末統計、連絡表の出席欄に反映される
- ③ 会計出納簿に入力すれば、学年会計報告、業者別一覧表が自動作成される

※すべて市の共有フォルダで管理し、パスワードをかけセキュリティを確保



### 職員の声

- ・学期末、学年末の忙しい時期に業務が緩和され、本来時間をかけなくてはならないことに集中できるようになった。
- ・朝の時間に余裕が生まれ、子どもとゆっくり話をする時間がもてるようになった。
- ・自分が気づいていないクラスの子の良いところを、他の先生が見つけてくれる。(多様な見方ができ子ども理解が深まる)

# 「教頭熟議」開催！

10月2日(土) <文部科学省との共催>

「学校における教職員の資質能力の向上について」をテーマに、教頭先生を対象に「熟議」が開催されました。「授業力」「子ども理解」「地域・保護者との連携」について、「ワールドカフェ」方式を用いたグループ討議を行いました。最後には、宮崎県五ヶ瀬町日渡教育長、文部科学省生涯学習政策局政策課上月課長から現在の国の動向等についてお話を聞きました。

## 熟議

保護者、教員、地域住民等の教育当事者が「熟慮」と「討議」を重ね、国の教育政策に反映させていくこと。



- ・「授業力」について、他校の先生方と議論でき有意義でした。
- ・校内の会議でも熟議のようなことを考えていきたいです。
- ・他のグループから意見をいただく方式で刺激を受けました。

文部科学省熟議ホームページはこちら⇒ <http://jukugi.mext.go.jp/>

## 教育支援課 特別支援教育・相談グループより

U-8 (アンダーエイト) 発達障害等早期支援事業

### 子どもの見方・ほめ方教室

ともだちづくり教室に参加している子どもの保護者が集まり、プログラムにそって、子どもの行動へのよりよい対応について学び合います。

#### ステップ1

子どもの行動観察をしっかり行くと、子どもの行動が理解できるようになります。

また、自分自身の子どもへの対応も振り返ることができます。

#### ステップ2

子どもの望ましい行動に注目できるようになり、ほめることができるようになります。

子どもは、認められた喜びから、さらに望ましい行動をとるようになります。

#### ステップ3

ほめることが十分できるようになると、従いやすい指示の出し方や望ましくない行動への対応の仕方などを学び、スキルアップしていきます。



「悪い行動⇔叱られる」から「よい行動⇔ほめられる」という親子のやり取りを形作っていくことで、安定した親子関係を築いていくことができるようになります。



# ともだちづくり教室

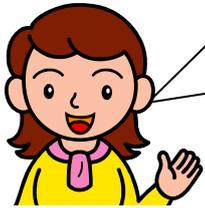


誰でも、叱られることや失敗することなど、トラブルは少ない方がいいと思っています。しかし、場の雰囲気を読み取ることが苦手だったり、人の気持ちを考えることがなかなかできなったり、集団の中で自分をコントロールすることが難しかったりする子どもたちがいます。その特性のために、当たり前と言われるようなことができない状態になってしまい、トラブルが起こることがあります。

そんな時は、誰よりも本人自身がとても困っています。ともだちづくり教室では、そんな子どもたちの困り感を少しでもなくしていけるように、少人数でのソーシャルスキルトレーニングを行っています。

## ソーシャルスキルトレーニング

日常生活の中で自然に学ぶことができる社会生活に必要なとされる技術を、意図的に練習させて身に付けさせる方法。



ともだちづくり教室、子どもの見方・ほめ方教室は、

日時：隔週月曜（5歳児） 隔週水曜（小学生）

15:00 ～ 16:10

場所：総合会館6F 集団学習室

年間3クール（1クール6回）

行っています。

## ともだちづくり教室 学習の流れ

### ◆ 一回の流れ(70分)

<b>ウォーミングアップ</b>
体全体を使った体ほぐし遊びを行い、活動への意欲づけをします
<b>学習タイム</b>
ロールプレイを見たり、実際に練習したりしながら、ソーシャルスキルを学びます
<b>遊びタイム</b>
感覚統合の考えを取り入れた遊びの中で、学習タイムで学んだスキルを実践します
<b>フィードバック</b>
スタッフから、子ども一人ひとりに、本日学んだスキルに関して、よかったことや頑張ったことのメッセージがおくられます

### 感覚統合

人間の味覚・嗅覚・視覚・触覚・動く感覚・重力・姿勢といった無意識の感覚を、脳が効率的に統合調整することによって、私たちは周りの全ての情報を理解し、適切な反応をします。この感覚の連携プレーのこと。

### ◆ 1クールの流れ(全6回)

	学ぶスキル(小学生の一例)
第1回	<b>教室のルールを理解</b> 「しっかり見る」「じっくり聞く」「はっきり言う」「順番を待つ」の4つのルールを学ぶ。
第2回	<b>相手やその場をよく見る</b> 相手の顔を見て、表情をよむ。
第3回	<b>行動による結果を予測する</b> 相手の表情をよみ、その場に合った言葉かけをする。
第4回	<b>気持ちを伝える</b> 相手の顔を見て、はっきり「入れて」と言う。
第5回	<b>気持ちを切り替える</b> 断られても、「すーはー」と深呼吸し、「またこんど」と気持ちを切り替えて話す。
第6回	<b>あたたかい言葉をかける</b> 相手のいいところや頑張りをほめる。

学んだスキルは、ホームワークとして家庭や学校でも、練習します。

